

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月3日(土)

会場 日立北高等学校体育館

【男子の部】 第2日目 Eコート 第4試合

チームA 県立高知工業 高知	96	{ <table border="0"> <tr><td>24</td><td>1Q</td><td>16</td></tr> <tr><td>28</td><td>2Q</td><td>17</td></tr> <tr><td>33</td><td>3Q</td><td>12</td></tr> <tr><td>11</td><td>4Q</td><td>19</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table> }	24	1Q	16	28	2Q	17	33	3Q	12	11	4Q	19		OT		64	チームB 県立広島商業 広島
24	1Q	16																	
28	2Q	17																	
33	3Q	12																	
11	4Q	19																	
	OT																		

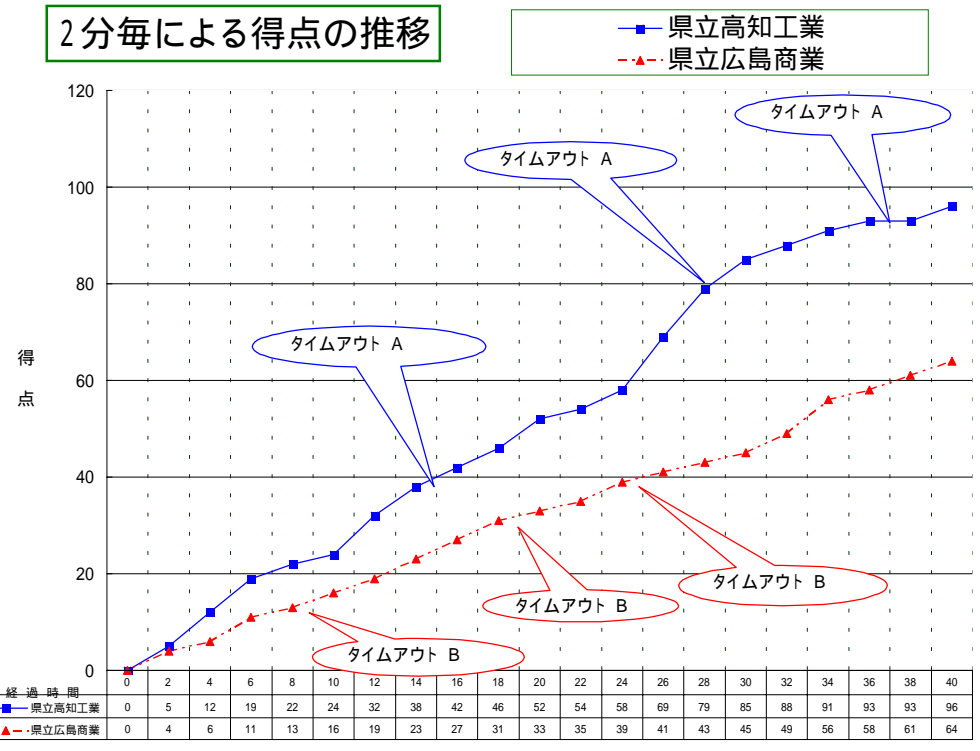
県立高知工業

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	坂本 寛宣	34	3	6	10	19	5	6	2	1	5	2	1	2	6	35
5	片木 大介	19	3	13	5	8	0	0	0	1	5	0	1	3	0	27
6	岩本 浩明	1	0	0	0	1	1	0	0	2	4	0	0	1	1	20
7	北添 公															DNP
8	武森 雄志	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	8
9	原 純也	11	3	3	1	2	0	0	0	2	3	1	0	0	0	19
10	竹内 大博	13	3	8	2	5	0	0	4	0	1	1	2	1	0	22
11	高橋 竜二	3	1	1	0	2	0	0	2	0	2	2	0	3	0	20
12	中山 雅斗	4	0	1	1	2	2	2	0	0	1	0	2	2	0	10
13	吉村 雄治															DNP
14	内山 豪一	11	0	0	4	14	3	4	1	3	3	1	0	2	1	33
15	小原 利之	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	6
コーチ	山本啓視								0							
		96	13	33	23	54	11	12	9	10	26	7	6	15	8	200
		確率	39.4%		42.6%		91.7%			計	36					

県立広島商業

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	野田 英佑	6	0	9	3	7	0	0	1	3	1	0	0	0	0	30
5	太田 佑一	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	2
6	青山 裕一	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6
7	佐々木裕樹	8	0	4	4	7	0	1	1	0	1	0	0	0	0	20
8	北川 祐大	2	0	0	1	9	0	0	4	1	1	5	2	10	0	36
9	横田 卓	9	3	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
10	中川 知康	7	1	1	2	5	0	0	0	1	1	0	1	0	0	14
11	岩本 俊也	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12	保田 逸貴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
13	山城 大作	21	0	2	9	22	3	3	1	4	6	2	0	2	9	36
14	白石 貴彦	0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	0	1	1	0	8
15	角島 圭一	8	0	5	4	10	0	0	3	1	9	2	0	2	0	35
コーチ	秋吉 秀則								0							
		64	5	25	23	64	3	4	14	11	20	12	4	15	9	200
		確率	20.0%		35.9%		75.0%			計	31					

2分毎による得点の推移



戦評

序盤、両チームともマンツーマンディフェンスに対しドライブイン、ミドルシュートの応戦。その中、高知工 #5片木、#10竹内がそれぞれ2本ずつ3Pを決め高知工がリードして第1P終了。第2Pは広島商 #4野田、#13山城がシュートを決めるが、高知工は #4坂本を中心に得点を加え19点差で前半を折り返す。第3P、広島商のターンオーバーが多くリズムをつかめずにいるのに対し、高知工は6本の3Pとフリースローでさらに点差を広げる。第4Pに入るとパスを回し時間をかけて攻める高知工に広島商は厳しいディフェンスを見せ、リスタートからの速攻や #8北川のアシスト、#9横田の3本の3Pで追い上げを見せた。両チームとも単調な攻撃であったが、3Pで着実に点差を広げた高知工が勝利を収めた。

主審 平山尚

副審 清水裕士

記入者 鈴木恒一